

令和6年度版 工事歩掛要覧〈建築・設備編〉

令和6年
9月発刊



経済調査会積算研究会 編
B5判 約800頁
定価9,240円(本体8,400円+税)

品確法では「予定価格を適正に定めること」を規定しており、公共建築工事において積算基準類の適用による工事費積算の実施が必須です。

本書は、公共建築工事標準仕様書・積算基準・標準単価積算基準・共通費積算基準・数量積算基準等の最新版に準拠しています。

- 令和6年度の積算基準類等に準拠
- 公共建築工事積算研究会参考歩掛りと、経済調査会積算研究会検討歩掛りも併せて掲載
- 付録に、(令和6年3月からの)公共工事設計労務単価、共通費(一括発注工事)の算定例を掲載

主要目次

総論

建築工事編

建築工事の積算について

1. 仮設
2. 土工
3. 地業
4. 鉄筋
5. コンクリート
6. 型枠
7. 鉄骨
8. 既製コンクリート

9. 防水
10. 石
11. タイル
12. 木工
13. 屋根およびとい
14. 金属
15. 左官
16. 建具
17. 塗装
18. 内外装
19. 仕上ユニットほか

20. 排水
21. 構内舗装
22. 植栽
23. とりこわし
24. 建築改修

電気設備工事編

電気設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 電力設備工事
3. 通信・情報設備工事
4. 改修工事

機械設備工事編

機械設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 空気調和設備工事
3. 自動制御設備工事
4. 給排水衛生設備工事
5. 改修工事

付録

1. 公共工事設計労務単価について
2. 共通費(一括発注工事)の算定例
3. 関数電卓の操作手順例

内容見本

共通費の算出例

【共通費の計算例】

●～●をもとに作成した計算例を次に示す。
共通費は、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等に区分し、それぞれを一式として計上する。

計算例① 建築工事における共通費の計算例
表・47 建築工事における共通費の計算例

工事種別	工期	名称	直接工事費	共通仮設費率 (%)	共通仮設費
建築工事	18.0	一般工事(新営)	490,020,000	4.16	20,384,832
		とりこわし工事	3,200,000	4.16	133,120
		一般工事(改修)	55,000,000	3.80	2,090,000
		積上げによる共通仮設費(一般工事(新営))	6,832,000		6,832,000
		小計	548,220,000		29,439,952
		処分費	1,075,647		

※ 処分費は共通仮設費の対象としない

変圧器

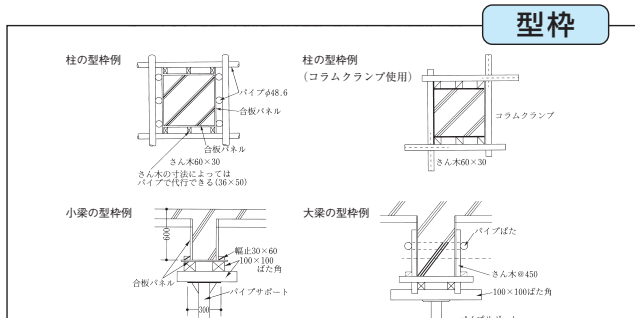
● 高圧進相コンデンサ

表・電・2-4-3 高圧進相コンデンサ (1台当たり)

名称	規格	高圧進相コンデンサ台	雑材料	電工			その他	搬入費	摘要
				人	普通作業員	人			
高圧進相コンデンサ (6kV/3kV)	三相 10/12kvar	1		0.248	0.248				
	◇ 15/18 ◇	1		0.301	0.301				
	◇ 20/24 ◇	1		0.442	0.442				
	◇ 25/30 ◇	1		0.558	0.558				
	◇ 30/36 ◇	1		0.575	0.575		一式	一式	
	◇ 50 ◇	1		0.655	0.655				
	◇ 75 ◇	1		1.13	1.13				
	◇ 100 ◇	1		1.26	1.26				
	◇ 150 ◇	1		1.59	1.59				
	◇ 200 ◇	1		1.78	1.78				

※ 一式材料価格×0.002

型枠



SGP-PB

表・機・1-1-2 水道用ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SGP-PB) (給水・冷却水) ねじ接合 (管端防食継手) (1m当たり)

施工箇所	呼び径	材 料			配管工		
		管	継手	接合材等	人	はつり補修	その他
屋内一般配管	15	1.10			0.089		
	20	1.10			0.100		
	25	1.10			0.123		
	32	1.10			0.151		
	40	1.10	一式 (管単価×0.65)	一式 (管単価×0.05)	一式 (管単価×0.15)	0.166	一式 (労務費×0.08)
	50	1.10			0.208		
	65	1.10			0.271		
	80	1.10			0.307		
	100	1.05			0.401		
	機械室・便所配管	15	1.10			0.107	
20		1.10			0.120		
25		1.10			0.148		

